

美浦村ふるさと応援寄附金の「返礼品」で自慢の商品を全国にアピール!

「新規協力事業者」を募集しています

平成20年度からスタートしたふるさと納税制度。美浦村が寄附者にお贈りする返礼品は、全国の皆さまから大変ご好評をいただいております。

この返礼品について、ご協力いただける事業者を随時募集しています。返礼品を通して美浦村をPRするとともに、あなたの自慢の商品を全国にアピールする絶好の機会です。ぜひ、ご検討をお願いいたします。

▼これまでの寄附状況（令和3年12月末現在）

年度	件数	金額
平成29年度	415件	1,113万2千円
平成30年度	1,534件	2,376万6千円
令和元年度	2,056件	4,101万8千円
令和2年度	2,161件	3,963万0千円
令和3年度	1,605件	3,393万7千円

◎ 募集する返礼品・・・次のいずれかの要件を満たす商品

- ・美浦村や霞ヶ浦の魅力を「体感できる」「楽しんでいただける」「懐かしんでいただける」商品
- ・地域産業の振興に繋がる要素をもつ商品
- ・美浦村で生産・製造・加工されているもの、村内の原料を使用しているものいずれかに該当する商品
- ・村のPRにつながる商品やサービスを提供できる商品
- ・品質および数量の面で安定供給が見込める商品（ただし期間限定・数量限定で供給可能なものは可）

※詳細については、企画財政課窓口配置もしくは村ホームページ掲載の募集要項をご覧ください。



■問合せ 役場企画財政課 ☎029-885-0340 (内) 208



みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 字結び「水・仙」（一字以上詠み込み）

霞浦の水面に逆さの筑波山額に入れたい里景色
寒い中にも仄かに匂い春を知らせる黄水仙
寒い朝にも陽が射し溶けて水の滴たり春を待つ
水面映した筑波を眺め富士に負けない郷土山
ほほを真つ赤にマラソン終えた児等で賑わう水飲み場
初春の早朝若水汲んで心清しく初日の出待つ
水の惑星輝く地球手と手繋いで守る星
庭の水仙ほのかに香り心和んだ昼下がりに
忘れ形見の水仙活けて茶席うるおし愛でる今
水の冷たさこたえて泣ける女房恋しいこんなとき
水に流してさっきの喧嘩ともに前へと進むため
素枯れ狭庭に気高く匂う春の先がけ水仙花
霞浦の水鳥小波連れて急ぎ向うは子等のもと
松と葉ばたん南天活けて庭の水仙ちよつと足す
常陸名瀑水で眠り水の音にはまだ遠い
空き家静かに水仙咲いて小鳥さえずりゆず揺らす
江戸の幕末日本の未来愁い決起の水戸藩士
水都土浦川面に映す初春を寿ぐ桜川
コロナ水害地球の危機を救う約束世界の和
庭の片隅水仙二輪そつとより添い春を待つ

一月の俳句（題 当季雑詠）
言葉なき夫と一献屠蘇の盃
栗の実甘し友の折りたる紙の皿
冬めぐり来さざんかの道朱に染め
オミクロン師走の街に忍び寄る
ピン札に両替わすれお年玉
凜とした日の出ずる湖鳥の飛ぶ
一望の田面の果ての初日かな
老残の胸乳抱きしめ冬至風呂
初笑い空振りスタートゴルフ好き
二日はや子ら帰り行き黙二人
暮れの庭切り干しの白輝やけり
初詣で行けぬ吾が身の弱さ知る
落語二席笑い得るなり松の内

- 小藪江久美
篠原美千代
山岸錦洋
塚本夏雲
山崎笑子
山岡亜子
上野八千代
伊藤葉子
門脇悠美
山崎泰弘
井戸賀蘇道
酒川夢花
長谷川悦子
木村幸子
高橋一步
沼寄朋香
関根秀子
増尾青蓮
田島草実
石戸律華
(五十音順)
青野安佐子
石毛恵美子
市川紀行
海道民子
木澤はしめ
小林美佐恵
高柳幸子
田島早苗
中島輝子
長田敏笑
増尾尚子
松本秀子
山口美代子